

令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 67

千葉県立清水高等学校 全日制の課程

食品科学科

機械科・電気科・環境化学科

(工業系3学科くくり募集)

1 期待する生徒像

(1)食品科学科

人物に優れ、本校で学習する能力があり、次のアまたはイに該当する生徒

ア 食品の「生産」や「流通」に興味・関心が高く、その適性がある生徒。

イ 「部活動」や「特別活動」において優れた実績や技能があり、高校入学後もその分野において継続して取り組む意志のある生徒。

(2)機械科・電気科・環境化学科（工業系3学科くくり募集）

人物に優れ、本校で学習する能力があり、次のアまたはイに該当する生徒

ア 「科学技術」や「ものづくり」に興味・関心が高く、その適性がある生徒。

イ 「部活動」や「特別活動」において優れた実績や技能があり、高校入学後もその分野において継続して取り組む意志のある生徒。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者3名の個人面接 検査時間：10分程度
(4) 適性検査	「ものづくり適性検査」を実施する。食品科学科と工業系3学科では内容が異なる。 いずれも与えられた課題の製作を個人で行う。検査時間：30分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 アの数値に、イ～オについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評価1または未評価の教科が6つ以上ある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において皆勤がある場合は、加点する。 3か年の欠席日数の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が5つ以上ある場合は、加点する。 ○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 及び部活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については、加点する。
オ 特記事項	日本漢字能力検定「4級」以上、実用英語技能検定「4級」以上、日本数学検定「5級」以上等の資格は、加点する。
カ 総合所見	問題となる記述がある場合は、審議の対象とする。

(3) 面接〔120点満点〕

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価する。

aを10点、bを7点、cを3点、dを1点とし、3名の評価者の評価（各40点満点）を合計し、得点化する。評価cまたは評価dが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機	志望動機が明確である。
イ 学校生活への意欲	中学校生活や高校生活に対する意欲がある。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。
エ 身だしなみ・態度	基本的な面接作法が身に付いている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

(4) 適性検査〔120点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価する。

aを20点、bを15点、cを6点、dを2点とし、2名の評価者の評価（各60点満点）を合計し、得点化する。評価cまたは評価dが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 製作態度	課題の製作に真剣に取り組んでいる。
イ 製作の過程	製作の過程が、正しい手順や方法で行われている。
ウ 作品の完成度	完成した作品の仕上がり具合が、課題に沿っている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

ア 「学力検査の成績」及び「調査書の得点」により順位をつけたとき、次の(イ)または(ロ)に示すパーセント以内にある者は、入学許可候補者として内定する。

(イ) 受検者数が予定人員以内のときは、受検者数の80パーセント

(ロ) 受検者数が予定人員を超えるときは、予定人員の80パーセント

ただし、学力検査の個々の教科の得点、調査書の教科の学習の記録、出欠の記録、行動の記録、総合所見及び第2日の検査（面接・適性検査）の結果等に問題となる点がないこと。

イ 上記アで決まらなかった者については、「学力検査の成績」と「調査書の得点」の合計に「第2日の検査（面接・適性検査）の得点」を加えた「総得点」で順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点		総得点
	評定（算式1）	加点	面接	適性検査	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	50点	120点	120点	$(925 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95

m ：中学校評定合計平均値

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

イ 入学許可候補者に内定した者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

工業系3学科（機械科・電気科・環境化学科）は、くくり募集とする。

*前期選抜等で入学許可候補者に内定した者のうち入学確約書を提出した者の数が、募集定員を満たした学科については、後期選抜は実施しません。

令和2年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 67

千葉県立清水高等学校 全日制の課程

食品科学科

機械科・電気科・環境化学科

(工業系3学科くくり募集)

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者3名の個人面接 検査時間：10分程度

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評価1または未評価の教科が6つ以上ある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において皆勤がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。 3か年の欠席日数の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が5つ以上ある場合は、総合的に判定する際の参考とする。 ○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 及び部活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については、総合的に判定する際の参考とする。
オ 特記事項	日本漢字能力検定「4級」以上、実用英語技能検定「4級」以上、日本数学検定「5級」以上等の資格は、総合的に判定する際の参考とする。
カ 総合所見	問題となる記述がある場合は、審議の対象とする。

(3) 面接

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(やや問題がある)・d(問題がある)の4段階で評価する。

評価cまたは評価dがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機	志望動機が明確である。
イ 学校生活への意欲	中学校生活や高校生活に対する意欲がある。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。
エ 身だしなみ・態度	基本的な面接作法が身に付いている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

- ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。
- イ 入学許可候補者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

4 その他

工業系3学科(機械科・電気科・環境化学科)は、くくり募集とする。